

平成27年度



# 赤木っ子だより

平成27年11月20日 No.24 文責 校長 橋本忠秋

## 《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ  
なえた、たくましい児童の育成』  
あ 明るく元気な子ども  
か 考えて行動する子ども  
ぎ 気力ある子ども



### 「薬物乱用防止教室」開催

先週の13日(金)、薬物乱用防止教室を開きました。この教室の対象者は、高学年の子ども達です。講師として、郡山市保健所の所員の方がおいでくださいました。



「薬物」っていったい  
なんだろう？



薬物とは、シンナー、麻薬、覚せい剤の他に、病院や薬局でもらうくすり、お酒やタバコも薬物に入ります。

なぜ子供はタバコを  
吸ってはいけないの？



子供は、体や脳の成長も早く、タバコの害が一番出やすいのです。体や脳の成長がおちつくまでは、法律でタバコを吸うのを禁止しています。

どうすればよいので  
しょう？



タバコなどの誘惑があっても『はっきりとことわろう !!』

『やらないと決めておこう !!』

### 鼓笛練習開始…11月18日(水)

今年は11月から鼓笛練習を開始します。例年ですと3学期に入ってからでしたが、今年は2月に行われます「第1回オーケストラフェスティバル」に特設合奏部の4・5年生の子ども達が出場したいと希望しましたので、それを受け参加することにしました。



5・6年生が音楽室に集まり、鼓笛練習にあたっての心構えをつくりました。鼓笛隊の立派な伝統を引き継げるように5年生は6年生が教えてくれる内容を全部吸収し、1年後には後輩に引き継げるようにしっかりと演奏や所作を覚えるなど、担当教師の下に確認しました。



良い緊張感の中で話を聞き、その後5年生と6年生が中央を向き合い、「お願いします」のあいさつを交わし、パートに別れて練習を開始しました。みんな、引き締まった良い表情をしていました。

### 5年生が「茶の湯に出会う」

17日(火)、赤木地域公民館の和室をお借りして、伝統文化の茶道を5年生が学びました。正教授の鈴木宗幸様から茶道の心とその嗜み方を実際に体験しました。



## 「より良い郡山の明日を築くために」

六年 関根

八月下旬、大阪府で中学一年生の男女が殺害された事件がありました。その事件は郡山市内で起こったことではありませんが、ニュースや新聞などで大きく取り上げられました。私は、例えばどんな理由があっても人のことを傷つけたり、一人一人の大切な命を奪ったりするのは決して許されないと思います。

そして、今回の事件が郡山市内で起きたことでもなく、私たちに全くの無関係というわけではありません。明日自分に、もしくは、自分にとって大切な誰かに起こるかもしれないのです。私は、そのような悲しい事件が起きない、より良い郡山の明日を築くためにはどうすればよいかを考えました。

私が考えたことは、次の四つです。

まず一つ目は「今、周りにいる家族、友達を大切にする」です。私は日常生活の中で家族や友達に助けられたこと、励まされたことが沢山あります。その一つ一つが今の私へとつながっているのだと思います。そのような、自分が安心して頼れる家族、友達と互いに支え合い、大切にすることは、とても重要だと考えました。

次に二つ目は、「他の人たちのことをよく見て心を配る」です。もちろん自分のことを考え行動することも大事ですが、何か悩んでいそうな人、うまく笑えていない人など、苦しんでいる人が、身近な人にもいるかもしれません。そのような人を見つけたら、「大丈夫？」と、声をかけてあげたり、話を聞いてあげたりするなど、心を配ることができると思います。

さらに、三つ目は、「自分で自分のことをちゃんと大切にする」です。自分をぎせいにしても人に親切にしたり、困っている人に役立ったりしても、自分自身の体や心が傷ついてしまうと、より良い郡山の明日を築くことはできないと思いました。他の人のことを考えすぎて、自分がやりたいこと、言いたいことをがまんし、苦しんでいる人は私の周りだけにとどまらず、まだまだ多くいると思います。自分の体や心を大切にすることは、より良い郡山の明日を築くことにつながってくると思います。

最後に四つ目は、「積極的に行動する」です。これまでの三つの考えや、自分がよいと思ったこと、他の人に役に立つことができることを積極的に実践することにより、郡山の明日は、より良いものになっていくのではないかと思います。それに、今の私にとっては一番欠けているところなので、自分で意識していきたいと思いました。

私は、この四つのことを大切にすれば、より良い郡山の明日を築くための第一歩になると思います。明日がどのような日になるかわかる人はいませんが、日常の中で、家族、友達、そして自分を大切にしていくことで、自分の身を守ることができるかもしれません。

また、周りをよく見て、積極的に行動することにより、「他の人と助け合うことが、できるかもしれない」と私は思います。

この四つのことを、まず私から始め、そして家族、友達へとつなげていきます。そして、郡山市全体に広めていき、より良い明日を築いていきたいです。

一つの痛ましい事件から「より良い郡山の明日を築くためには、どうすればよいか。」を考え、たどり着いたことは四つ。その一つ一つについて、具体的に意見を述べています。みんなが学ばないといけない内容があると思いました。